

交通事故ゼロを目指して 春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動出動式が5月10日、桑折町役場で行われました。式の後には、道の駅国見あつかしの郷で交通安全啓発活動が行われ、引地真町長ら関係者が参加。道の駅利用者に啓発グッズを配りながら、交通事故防止を呼びかけました。

また、「交通事故死ゼロを目指す日」の5月20日にも、町交通安全関係団体が道の駅で交通安全を呼びかけました。



道の駅利用者に交通事故防止を呼びかけました



甘く優雅な香りを放ちながら人々を魅了しました

風に揺れる紫色のカーテン 満開に咲き誇る深山神社の大藤

町天然記念物に指定されている深山神社の大藤が今年も見事に咲き誇り、町内外から訪れた多くの人で賑わいました。境内の大榎に巻き付いた大藤は、毎年5月の中旬頃には滝のように咲き乱れ、人々を魅了します。

今年は例年よりも少し早く4月中に満開を迎えた大藤。訪れた人たちは、カメラを片手に思い思いの場所を探し、満開の大藤を見上げて写真撮影をしていました。

保護者と町の連携協力のために 町幼小中学校 PTA 連絡協議会が要望書提出

国見町幼小中学校 PTA 連絡協議会（齋藤仁志会長）は5月11日、「くにみ学園に関する要望書」を町と町教育委員会へ提出しました。

要望書は、くにみ学園構想を検討していくにあたり、子どもたちが学びやすい学習環境づくりを第一に考えるとともに、保護者への丁寧な説明と意見交換の機会を要望したものです。



要望書を手渡す PTA 連絡協議会役員の皆さん



1億円分の紙幣の見本を持ち上げる児童

税の役割を正しく理解 国見小学校で租税教室

租税教室が5月1日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが税金について学びました。

租税教室では、町税務課職員が講師となり、税金の使い道や大切さなどを児童たちに説明しました。また、約10kgの1億円分の紙幣見本が用意され、手にした児童からは「1億円は意外と軽かった」という感想が聞かれました。児童たちは、税金は暮らしを支える身近な会費のようなものと実感していました。

野菜の栽培技術を学ぶ くにみ農業ビジネス訓練所短期研修

くにみ農業ビジネス訓練所短期研修「野菜栽培の実践」が5月17日、13人の受講生が参加し開講しました。

第1回目は元福島県農業試験場職員の大和田清三さんを講師に迎えて、「夏野菜づくりの準備」をテーマに野菜栽培の実践について研修を行いました。参加者は夏野菜の種類や植え付けの方法など、実践的な農業技術を学びました。短期研修は農業簿記なども含め、年21回の座学研修も行っています。



野菜栽培の方法を熱心に聞く受講生たち



行政相談制度の説明を行う羽根田ヒサさん

行政相談ってなんだろう？ 国見小学校で行政相談出前授業

行政相談出前授業が5月2日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが日常生活と行政の関わりについて学びました。出前授業では、町の行政相談員の羽根田ヒサさんらが講師となり、行政の役割や行政相談員の仕事について、クイズや具体例を交えながら説明。行政などへの意見・要望を受け付ける行政相談制度を身近に感じてもらうことで、制度の積極的な利活用を求めました。

交通ルールを守りましょう くにみ幼稚園で交通安全教室

交通安全教室が5月22日、くにみ幼稚園で開催されました。それぞれのクラスごとに、信号機の見方や横断歩道の渡り方を学びました。その後、年少組は園の敷地内で一列に並んで歩く練習をしたり、年長・年中組は交通安全母の会の皆さんと一緒に道路に出て、歩道の歩き方や横断歩道の渡り方を実践しました。園児たちは左右をしっかり確認し、まっすぐに手を挙げて道路を横断していました。



道路を横断する前には右・左・右



「天のつぶ」の苗を丁寧に植える児童たち

青空のもとで田植え 国見小学校農業体験学習

国見小学校5年生の児童たちは5月9日、農業体験学習の一環として田植えを行いました。

当日は、小坂アグリ株式会社や県北農林事務所伊達普及所、JAふくしま未来国見営農センターの協力のもと、児童たちはぬかるむ足元に悪戦苦闘しながらも、一つひとつ丁寧に「天のつぶ」の苗を植えていました。秋には稲刈り体験も予定していて、収穫した米は調理実習でおいしくいただきます。